

「学校施設整備基本計画」見直す 学校施設整備審議会を設置

学校施設整備審議会とは

市内の小学校及び中学校施設の老朽化に伴う改築ピーク期（2033年～2042年）に向け、より効果的で効率的に施設整備を推進するための学校施設整備計画の見直しを行うため、嘉麻市学校施設整備審議会を設置するものです。

○所掌事務

- ① 嘉麻市教育委員会の諮問等に応じ、次にあげる事項を調査、審議します。
- ② 学校施設整備に関すること。
- ③ その他学校施設整備に関し、教育委員会が特に必要と認める事項。

○組織

12人以内で組織
① 学識経験者

1人以内
② 保護者の代表者

5人以内
③ 学校の代表者

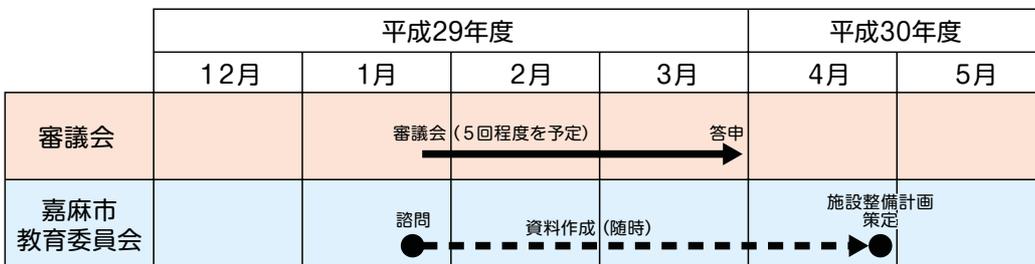
2人以内
④ 公共的団体が推薦する者
4人以内

○これまでの学校施設整備の経過

平成20年3月に施設の調査及び現況把握を行い安心・安全な施設整備に関する基本方針を中長期的に整備するため、嘉麻市学校施設整備基本構想を策定。平成21年9月に嘉麻市学校施設整備基本計画を策定。この計画では基本構想に基づき、施設の劣化状況の調査、整備の優先順位や整備スケジュールの調査検討が行われました。なお、改築ピーク期には、

改築・改修を含め、その時点での劣化状況を踏まえ改めて整備計画を見直すものとし、現在その計画を基に改修等が進められています。

○審議会のスケジュール



○学校施設の経過年数

2040年には8校が開設から60年を経過し、一斉に改修時期を迎えます。

（左図参照）

本計画では建築物の耐用年数を原則として非木造60年、木造30年と設定しています。

学校名	開設年度	校舎			
		H29年度末経過年数	H52年度末経過年数	改修年度	改修後経過年数（H29年度末）
熊ヶ畑小学校	S30	62	85	H30実施予定	
上山田小学校	H2	27	50		
下山田小学校	H11	18	41		
稲築西小学校	S51	41	64	H7	22
稲築東小学校	S53	39	62	H11	18
碓井小学校	S47	45	68	H6	23
嘉穂小学校	H26	3	26		
牛隈小学校	S56	36	59	H26	3
山田中学校	S55	37	60	H28	1
稲築中学校	S54	38	61	H12	17
稲築東中学校	S56	36	59	H13	16
碓井中学校	S54	38	61	H16	13
嘉穂中学校	H17	12	35		

※網掛け：鉄筋コンクリート造、概ね60年経過施設

※熊ヶ畑小学校については、平成28年度に老朽状況を確認済

公立学校施設の実態調査より

学校施設だけではなく「公共施設等適正化基本方針」に基づき、市内全ての公共施設を整備すべき。

先進地では市民がわかりやすいように全ての公共施設の現状と将来展望等をデータ化している。本市でもデータ化に取り組むべき。

学校統廃合や小中一貫校は生徒児童数の増加をまねき、マンモス学校が出現する。子どもを中心に考えれば少人数学級を維持しなければならぬ。

小中一体型の考えは了承できないが施設整備は教育環境改善のため必要。

2040年には開設から 60年経過する学校



碓井中学校

昭和54年開設



碓井小学校

昭和47年開設



稲築中学校

昭和54年開設



稲築西小学校

昭和51年開設



山田中学校

昭和55年開設



稲築東小学校

昭和53年開設



稲築東中学校

昭和56年開設



牛隈小学校

昭和56年開設